



岡
田
敦

幻の馬

Yururi Island 1950—2026

Okada Atsushi | Phantom Horses

2026 12. 1 tue

2027 1. 17 sun

at TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

東京都写真美術館 地下1階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間 | 10:00—18:00 (木・金曜日は20:00まで)

※入館は閉館の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日 (ただし1月11日は開館)、12月28日—1月1日、1月12日

主催 | 株式会社シー・エム・エス

共催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

企画・制作 | 岡田敦写真事務所

TOP MUSEUM



Yururi Island, July 2018



岡田敦

幻の馬

Yururi Island 1950—2026

Okada Atsushi | Phantom Horses

ユルリ島は現代の“ロスト・ワールド”である。この言葉はコナン・ドイルが著した、断崖に囲まれた人跡未踏の台地に絶滅したはずの動物たちの王国があったという空想小説のタイトルだが、ユルリ島という無人島もまた、立ち入りが制限されて人は近づけない。そしてここには人知れず馬たちが、それも雌馬だけが暮らしているのだ。岡田敦はそんなロスト・ワールドの目撃者である。雌馬だけとなった群れは誕生の可能性を持たず、1950年に島に移入された馬の子孫は岡田が撮影を始めた2011年には10数頭、そして今は2頭にまで減った。この展覧会で見られる写真に刻印されているのは、いわば蠟燭の炎が消えんとする瞬間の揺めきだ。その儚くも美しい命の証の光が人々の記憶に残ることを願う。

Yururi Island is a modern-day “Lost World.” The phrase comes from the title of Sir Arthur Conan Doyle’s novel, in which a kingdom of creatures thought to have become extinct survives on an unexplored plateau surrounded by sheer cliffs. Yururi, too, is an uninhabited island to which access is strictly controlled. Here, hidden from human view because people cannot freely enter, lives a herd of horses—mares only. Okada Atsushi is a witness to this Lost World. With no stallions among them, the herd has no possibility of new life. Descended from horses introduced to the island in 1950, their numbers had dwindled to little more than a dozen when Okada began photographing them in 2011. Today, only two remain. The photographs in this exhibition capture, in a sense, the flicker of a candle’s flame at the moment before it is extinguished. It is our hope that the fragile yet beautiful light bearing witness to these lives will remain in the memories of all who see this exhibition.



岡田 敦（おかだ・あつし）

写真家、芸術学博士。1979年生まれ、北海道出身。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒、東京工芸大学大学院芸術学研究科博士後期課程修了。富士フォトサロン新人賞、木村伊兵衛写真賞、北海道文化奨励賞、東川賞特別作家賞、JRA賞馬事文化賞を受賞。主な写真集に『I am』（赤々舎）、『ataraxia』（青幻舎）、『世界』（赤々舎）、『MOTHER』（柏鑰舎）、『エビタフ 幻の島、ユルリの光跡』（インプレス）、『The Horses of Yururi Island ユルリ島の馬』（青幻舎）がある。作品は北海道立近代美術館、神田日勝記念美術館、東川町文化ギャラリー、東京工芸大学写大ギャラリーにパブリックコレクションされている。

○本展の関連書籍を館内2階ミュージアム・ショップにて販売

『エビタフ 幻の島、ユルリの光跡』インプレス 2,970円(税込)
『The Horses of Yururi Island ユルリ島の馬』青幻舎 6,600円(税込)

観覧料：一般 1,200円(960円)、学生・65歳以上 950円(760円)、小中高生 400円(320円)

※()は有料入場者20名以上の団体料金 ※未就学児、障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料
※第3水曜日は65歳以上無料 ※各種割引の併用はできません ※事業は諸般の事情により変更することがございます
※最新情報は東京都写真美術館ウェブサイトなどでご確認ください

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

Opening Hours: 10 a.m. – 6 p.m. (until 8 p.m. on Thursdays and Fridays)

Last admission: 30 minutes before closing.

Closed: Mondays (except Jan. 11), Dec. 28–31, Jan. 1 and 12

Admission: Adults ¥1,200 (¥960) / Students and visitors aged 65 and over ¥950 (¥760) / Elementary, junior high, and high school students ¥400 (¥320)

*The prices in parentheses apply to groups of 20 or more.

ユルリ島

根室半島・昆布盛漁港の南東2.6kmの沖合にあり、周囲(海岸線長)7.8km、面積1.98km²。1950年、北方領土を追われた人々が馬を連れて島に移住。漁撈環境の整備とともに島民が去ると島には馬だけが残された。現在は国指定鳥獣保護区(特別保護地区)、北海道指定天然記念物、北海道自然環境保全地域などに登録され、立ち入りは制限されている。



○関連イベント：東京都写真美術館1階ホール

●アーティスト・トーク

12/6 sun 15:00–17:00

ゲスト：サイトラヒデユキ(装幀家)、平井真美子(音楽家)

イベントの詳細は東京都写真美術館ウェブサイトなどでご確認ください。

153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita Meguro-ku Tokyo 153-0062
Tel 03-3280-0099 (General Information) www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には専用の駐車場はございません。
お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ：株式会社シー・エム・エス Tel 03-5244-9211 yururi@cmsinc.jp



東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM